

学位論文
リポジトリ登録マニュアル
学位取得者(新潟生命歯学研究科)用

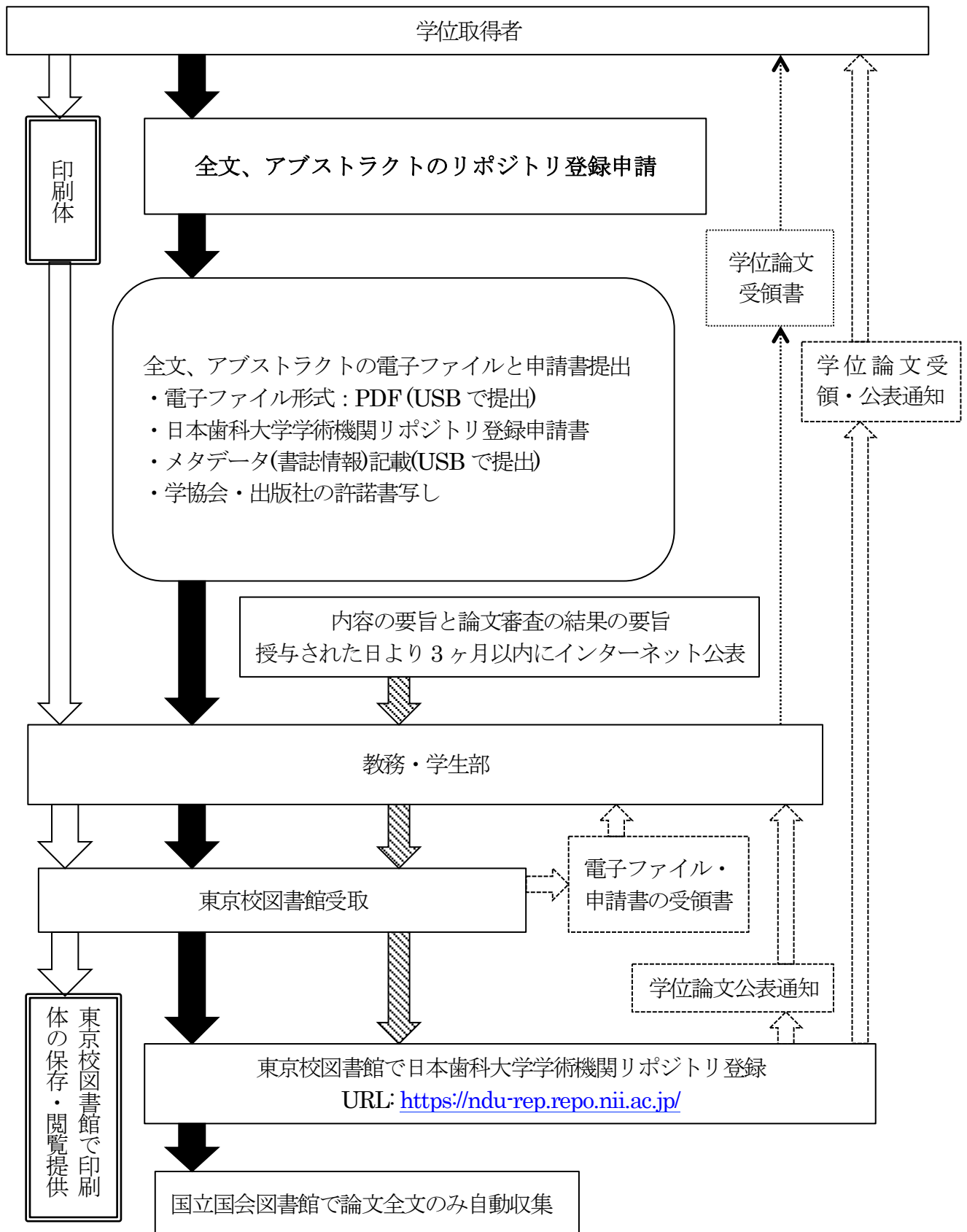
日本歯科大学生命歯学部図書館

2019. 10. 1 改訂版

目 次

1. 学位論文リポジトリ登録の流れ	1
2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル	2
3. 学協会・出版社の利用許諾 用語説明と投稿論文の流れ/公開の条件例/学協会・出版社の許諾例/ 許諾願いの書式/参考文献	7
4. 書類ほか	21
参考例[学位論文電子ファイル見本]	23
日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書	25
日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書記載例	28
メタデータ	31
メタデータ記載例	32
日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書変更届	33

1. 学位論文リポジトリ登録の流れ



2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル 新潟生命歯学研究科学位取得者用

2019. 10. 1

平成 25 年度から学校教育法・学位規則の改正により学位論文はインターネット公表となりました。インターネット公表のため当学では、日本歯科大学学術機関リポジトリ <https://ndu.rep.repo.ac.jp> (以下リポジトリと略す)に学位論文を登録します。リポジトリ登録は、学位取得者が教務・学生部に提出した学位論文全文もしくはアブストラクトを対象に図書館が行います。

(1) 学位授与からインターネット公表までの流れ

学位授与から **1 年以内に学位論文を公表**(学校教育法-学位規則第 9 条)します。

学位取得者が学位論文の電子ファイルとリポジトリ登録申請書作成



教務・学生部受取 (各学位取得者へ受領書)



図書館受取



図書館でリポジトリ登録(インターネット公表)



図書館から学位取得者へ受領と公表の通知

* 「学位論文内容の要旨及び論文審査の結果の要旨」は、3 ヶ月以内に図書館がリポジトリ登録します。(学校教育法-学位規則第 8 条)

(2) 学位取得者の教務・学生部への提出物

教務・学生部への提出物は以下の 4 点です。

1. 学位論文全文もしくはアブストラクトの電子化したもの
2. 提出書類
 - ①日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書
 - ②学協会・出版社の許諾書の写し
 - ③メタデータ

1. 学位論文全文もしくはアブストラクトの電子化したもの

学位論文全文を授与された日より 1 年以内に提出します。ただし、やむを得ない事由で全文公表ができない場合はアブストラクトでの提出ですが、

2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル 新潟生命歯学研究科学位取得者用

2019. 10. 1

予め全文公表が可能になることがわかる場合は、全文も併せての提出でも構いません。公表が可能になった時点で全文を図書館が登録します。

*やむを得ない事由については、ホームページ「学位論文について」(<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp>)の「法令・倫理規定の遵守」を参考にしてください。

形式・規格

全文・アブストラクトともに同じ形式・規格です。

(ア) PDF 形式

学位論文電子ファイルの PDF 変換は、取得者各自で行います。

PDF 変換ソフトには、Acrobat、Version2010 以降の Office[PC Room のパソコン搭載]、無料ソフト Cube PDF などがあります。全文検索を可能とするためスキャナー機などを利用した PDF は、受け付けません。

*Cube PDF: <http://www.cube-soft.jp/cubepdf/>

*PDF 化にあたっての注意事項

パソコン機種、海外からのアクセスなども考慮して、

- ・機種あるいはベンダー依存の形式でないこと。
- ・外部情報源（外部フォント等）を参照してはいないこと。
- ・暗号化・パスワードの設定・印刷制限等を行わないこと。

(イ) 規格(レイアウト)[参考例・学位論文電子ファイル見本を参照]

- ・「博士(歯学)学位論文作成の手引」にある規格を参考。
- ・A4 版
- ・1 段組、論文末に参考文献、画像と説明文の順で掲載。

(ウ) 提出方法

USB を教務・学生部へ

*メタデータと共に提出して下さい。(2-3 を参照)

アブストラクトで提出済なら全文提出時には、必要ありません。

2. 提出書類

①日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書

「学位論文について」 (<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp>) のホームページ画面より申請書をダウンロードし記載の上、学位論文の電子ファイルと共に教務・学生部に提出して下さい。

2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル 新潟生命歯学研究科学位取得者用

2019. 10. 1

- ・ 提出書類：日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書
[WORD 形式]
- ・ 提出期限：学位論文と共に提出(授与された日から 1 年以内)
- ・ 提出先： 所属する学部の教務・学生部

②学協会・出版社の許諾書の写し

多重投稿や著作権侵害を防止する上で、雑誌投稿をした論文のリポジトリ登録には学協会・出版社の許諾が必要です。投稿先のアクセプトが決まっているのなら許諾書の写しもリポジトリ登録申請書とともに提出して下さい。(学協会・出版社の利用許諾を参照)

③メタデータ

メタデータは、学位論文の電子ファイルを効率的に管理、検索を行うのに必要となるデータです。「学位論文について」のホームページ画面よりダウンロードし記載の上、学位論文の電子ファイルと共に教務・学生部に提出して下さい。

- ・ 提出書類：メタデータ[Word 形式。USB などの電子媒体で提出]
- ・ 提出期限：学位論文と共に提出(授与された日から 1 年以内)
- ・ 提出先：所属する学部の教務・学生部

(3)学協会・出版社の許諾確認

学協会・出版者の許諾書の写しが提出されない場合、図書館でも確認します。図書館での確認と提出されたりポジトリ登録の許諾確認内容とが異なる場合は、教務・学生部から「リポジトリ登録許可の学位論文についての確認」を学位取得者にお渡ししますので、再度リポジトリ登録の可否をご確認の上、提出して下さい。

(4)提出したりポジトリ登録申請書の変更

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書に変更があった場合は、「日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書変更届」と書き直した申請書を再度研究科長へ提出して下さい。

例：全文公開から抄録公開への変更

2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル 新潟生命歯学研究科学位取得者用

2019. 10. 1

理由：投稿先の変更に伴い出版社ポリシーに変更ができたため

(5) 国立国会図書館への収録

国立国会図書館では、平成 25 年の学校教育法・学位規則の改正に伴い機関リポジトリから全文公開をしている学位論文を自動収集しています。当学のリポジトリ登録される学位論文全文もその対象です。アブストラクトのみ公開のものは収集されません。

(6) よくある質問

1. 著作権・出版社ポリシーからリポジトリ(repository) について探す場合
当学のリポジトリは「機関リポジトリ」(Institute Repository)です。
機関リポジトリは、セルフ・アーカイヴィング(Self Archiving)の一つであり、オープンアクセス(Open Access)の一つでもあります。

学協会・出版社の Authors' rights や Copyright のなかに、Open Access または Self Archiving の一つとして機関リポジトリに関するポリシーが書かれていることが多いです。

- ・ Open Access： 学術論文や学術雑誌の掲載記事が、インターネットを通じて誰でも自由に閲覧できること
- ・ Self Archiving： 著者自身の論文を機関リポジトリや個人のサーバなどを利用して無償で公開するもの
- ・ Institute Repository： 大学機関等のインターネット上の電子公開書庫

2. 雑誌投稿論文を学位論文としてリポジトリ登録する場合

多重投稿や著作権侵害とならないために投稿先の学協会もしくは出版社の許諾が必要です。学協会・出版社のほとんどが掲載されたままの論文のリポジトリ登録を許可しませんが、条件つきなら許可をしているところもあります。条件には、リポジトリ公開は雑誌発表 1 年後なら許可、査読前の原稿なら許可、査読後の著者校正前の原稿(著者最終原稿)なら許可などいろいろあります。雑誌発表後の学位論文をリポジトリ登録する場合、査読後の原稿(著者最終原稿)が対象となります。査読前の原稿では修正などにより内容が異なってしまうためできません。学協会・出版社の許諾条件をよくご確認の上、申請して下さい。

2. 学位論文リポジトリ登録マニュアル 新潟生命歯学研究科学位取得者用

2019. 10. 1

後に付した「学会・出版社の利用許諾」をご参照下さい。

3. 学位論文と雑誌に掲載される論文のタイトルが異なる場合
リポジトリ登録の対象は学位論文のタイトルです。
4. 正誤表がある場合
正誤表は、研究科委員会で審査・了承を得たものを登録します。
図書館では、学位取得者から直接正誤表を受け取りません。教務経由のもののみ受け取ります。指導教員、研究科長にご相談下さい。
5. 雑誌発表後の論文を学位審査し、その時点で訂正がある場合
“てにをは”などの単純ミスは訂正表をつけますが、内容に変更がある場合、掲載先の学会・出版社に許諾の確認をしてください。もしくは、指導教員、研究科長にご相談下さい。
6. 複数の雑誌に掲載された論文が学位論文となった場合
掲載先それぞれの学会・出版社の許諾を得る必要が有ります。一箇所でも許諾を得ることができない場合は、アブストラクトの登録となります。
7. 共著者の一人に許諾を得られない場合(死亡等により)
指導教員、研究科長にご相談ください。
8. 登録申請書提出後に変更がある場合
変更届と共に書き直した登録申請書を再度研究科長に提出します。

*リポジトリ登録の事務的処理については図書館に、論文訂正など内容に関わることやリポジトリ登録の可否については指導教員、研究科長にご相談下さい。

*インターネット公開の「Q & A」もご参照下さい。

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録するにあたり、投稿先学協会・出版社の許諾が必要です。許諾を得たという証拠のため、ご自身の契約書、投稿規定、著作権譲渡書、許諾書など許諾に関する書類のコピーの提出もお願いします。

リポジトリ登録(セルフ・アーカイヴィング)については、投稿規定(instructions for authors)や著作権譲渡書(CTAなど)で規定されている事が多いです。論文投稿にあたりご自身の契約をよくご確認ください。また、学協会・出版社のセルフ・アーカイヴィングに関する著作権ポリシーを集めたデータベース、「SHERPA/RoMEO」(海外)・「学協会著作権ポリシーデータベース」(日本)で許諾について調査できますが、**必ず学協会・出版社にも確認してください**。学協会・出版社のホームページに掲載されていることもあります。

許諾に関してわからない場合は直接投稿先へ問い合わせるか、または、図書館へお問い合わせください。投稿先の学協会・出版社への問い合わせを図書館でも支援いたします。

連絡先: 〒102-8159

東京都千代田区富士見 1-9-20

日本歯科大学生命歯学部図書館 学位論文係

TEL: 03-3261-8931 FAX: 03-3238-1289

Email: library@tky.ndu.ac.jp

内容

- 1) 用語と投稿論文の流れ
- 2) 公開条件の例
- 3) 学協会・出版社の許諾例
 1. Odontology
 2. 日本歯科理工学会誌
- 4) 許諾願いの書式
 1. 論文投稿するにあたっての許諾
 2. 日本語 電子メール/手紙
 3. 英語 2例
- 5) 参考文献

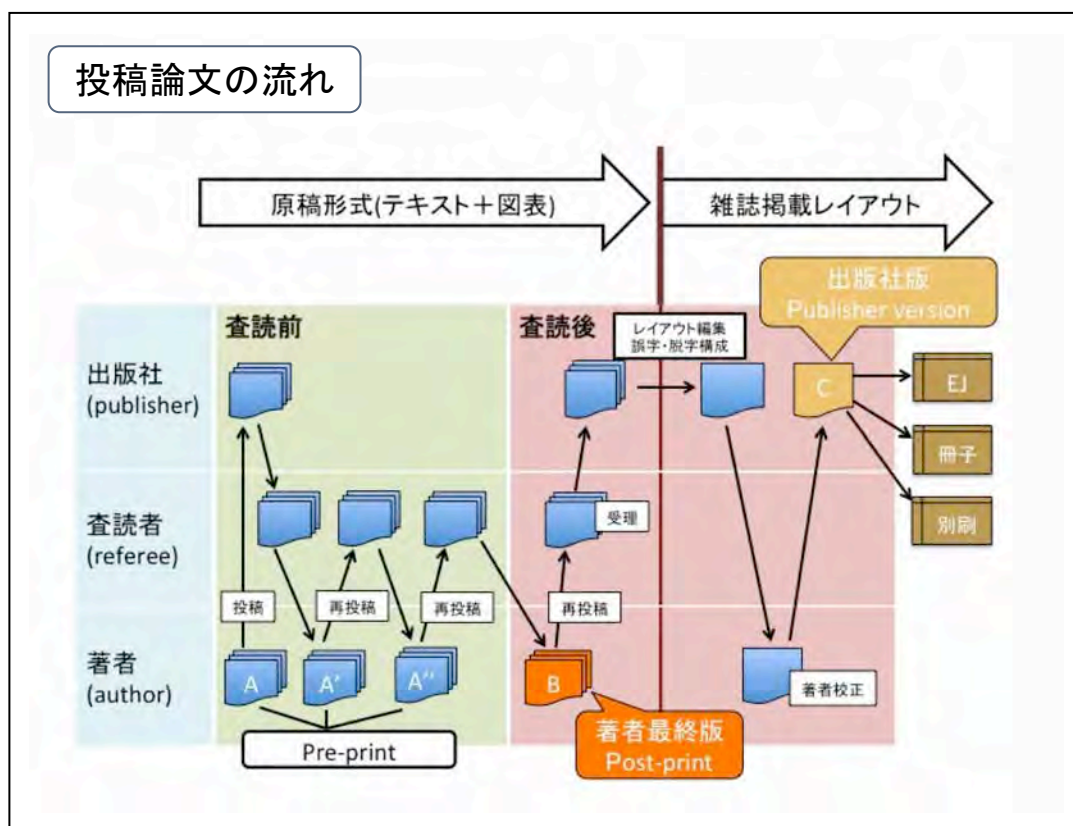
3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

1) 用語と投稿論文の流れ

用語

- ・セルフ・アーカイヴィング(self-archiving): 著者自身の論文を機関リポジトリや個人のサーバなどを利用して無償で公開するもの
- ・著作権譲渡書: Copyright transfer statement
- ・著者版(author version): 雑誌に掲載される前の、著者の手元にある版
- ・著者最終版(final version/final draft): 雑誌に掲載される直前の、著者の手元にある最終の版
- ・出版社版(publisher version): 雑誌に掲載された(レイアウトも整えられた)版。PDF版
- ・査読前(pre-print/pre-refereeing):
- ・査読後(post-print/post-refereeing):
- ・査読後著者最終版(final draft post-refereeing):
- ・エンバーゴ(embargo): 無償で公開できない一定期間。猶予期間
- ・著者校正前(uncorrected proof): 雑誌用のレイアウト修正はされているが、著者の校正前。Proof=校正ゲラ
- ・著者校正済(corrected proof)



3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

2) 公開の条件例

学協会・出版社によって異なります。以下は、出版社がリポジトリ登録での公開するにあたっての条件の例です。

版指定(リポジトリ登録時の原稿状態)

- 査読前の原稿を使用すること(投稿論文の流れ-A)
- 受理時に提供する専用のリプリントを使用すること
- 著者最終版を使用すること(投稿論文の流れ-B)
- 著者最終原稿に校正時の修正を加えて使用すること
- Publisher version/PDFは許可しない (通常、雑誌掲載用にレイアウトされたものは許可されず、著者最終版までを許可することが多い。)

出典・著作権表示

- 出典を明記すること
- DOIを表示すること
- 雑誌ホームページにリンクすること
- 既定の著作権表示を追加すること

エンバーゴ(猶予期間)

- 雑誌公開後、〇〇月後にリポジトリで公開可能とする
- 論文の受理後、〇〇月後にリポジトリで公開可能とする
- 著者版は即時リポジトリ公開可。出版社版は雑誌公開後、〇〇月後にCC BYになる。(CC BY:クリエイティブ・コモンズ・ライセンス)

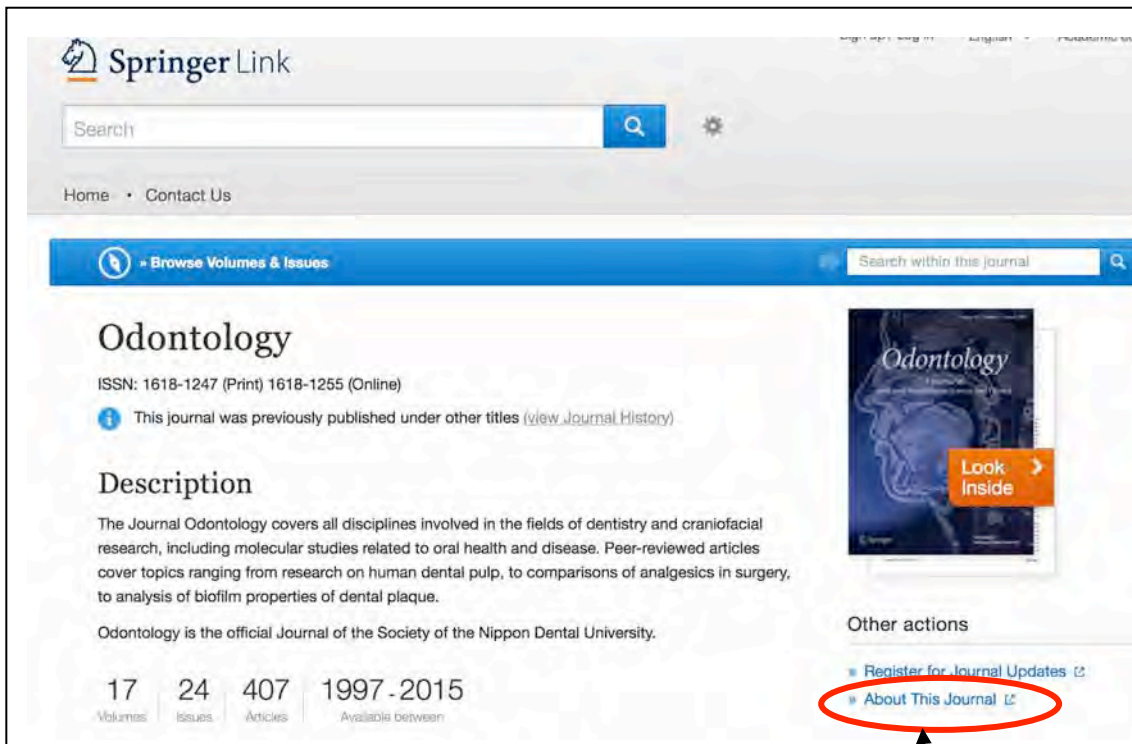
3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

3) 学協会・出版社の許諾例

1. Odontology (<http://link.springer.com/journal/10266>)

「Odontology」のホームページを開き右の項目欄にある「About This Journal」→「Open Choice-Your Way to Open Access」→「Author's Rights」の順で開きます。「Author's Rights」に Self-archiving policy を記載。



Springer Link

Search

Home · Contact Us

Browse Volumes & Issues

Search within this journal

Odontology

ISSN: 1618-1247 (Print) 1618-1255 (Online)

This journal was previously published under other titles ([view Journal History](#))

Description

The Journal Odontology covers all disciplines involved in the fields of dentistry and craniofacial research, including molecular studies related to oral health and disease. Peer-reviewed articles cover topics ranging from research on human dental pulp, to comparisons of analgesics in surgery, to analysis of biofilm properties of dental plaque.

Odontology is the official Journal of the Society of the Nippon Dental University.

17 Volumes 24 Issues 407 Articles 1997-2015 Available between

Other actions

- Register for Journal Updates
- About This Journal**

About this journal

Open Choice – Your Way to Open Access



Dentistry Home > Medicine > Dentistry

SUBDISCIPLINES | JOURNALS | BOOKS | SERIES | TEXTBOOKS | REFERENCE WORKS

Odontology

Official Journal of the Society of the Nippon Dental University

Editor-in-Chief: Makoto Tsuchimochi

ISSN: 1618-1247 (print version)

ISSN: 1618-1255 (electronic version)

Journal no. 10266

Read Online

RECOMMEND TO LIBRARIAN

Like 30 Tweet 1 +1 0

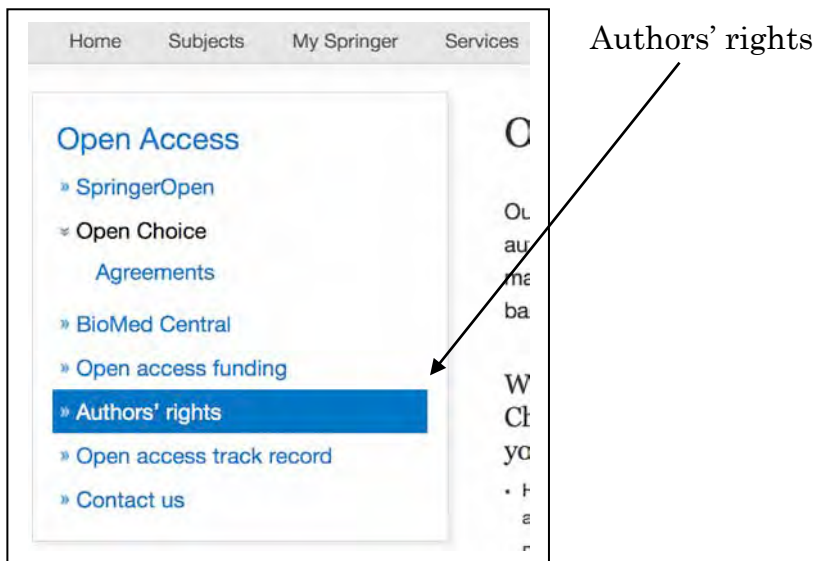
READ THIS JOURNAL ON SPRINGERLINK

- All volumes & issues
- Free: Sample Articles

FOR AUTHORS AND EDITORS

2013 Impact Factor 1.354

- Aims and Scope
- Submit Online
- Open Choice - Your Way to Open Access**
- Instructions for Authors
- Certification Form (pdf, 73 kB)



Author's Rights at Springer



Self-Archiving Policy

Copyright Transfer Statement(著作権譲渡書)にサインすることによる権利が書かれています。

Self-archiving policy

Springer is a green publisher, as we allow self-archiving, but most importantly we are fully transparent about your rights.

Publishing in a subscription-based journal

By signing the Copyright Transfer Statement you still retain substantial rights, such as self-archiving:

"Authors may self-archive the author's accepted manuscript of their articles on their own websites. Authors may also deposit this version of the article in any repository, provided it is only made publicly available 12 months after official publication or later. He/ she may not use the publisher's version (the final article), which is posted on SpringerLink and other Springer websites, for the purpose of self-archiving or deposit. Furthermore, the author may only post his/her version provided acknowledgement is given to the original source of publication and a link is inserted to the published article on Springer's website. The link must be provided by inserting the DOI number of the article in the following sentence: "The final publication is available at Springer via [http://dx.doi.org/\[insert DOI\]](http://dx.doi.org/[insert DOI])"."

Prior versions of the article published on non-commercial pre-print servers like arXiv.org can remain on these servers and/or can be updated with the author's accepted version. The final published version (in PDF or HTML/XML format) cannot be used for this purpose. Acknowledgement needs to be given to the final publication and a link should be inserted to the published article on Springer's website, by inserting the DOI number of the article in the following sentence: "The final publication is available at Springer via [http://dx.doi.org/\[insert DOI\]](http://dx.doi.org/[insert DOI])".

When publishing an article in a subscription journal, without open access, authors sign the Copyright Transfer Statement (CTS) which also details Springer's self-archiving policy.

» [CTS \(for information purposes only\) \(pdf, 213 kB\)](#)

Publishing open access

なお、著作権については、「Copyright information」にも詳しく書かれています。Springer の「Copyright information」の書き方は、多くの雑誌で共通していますので参考になります。

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

The screenshot shows the website for the journal 'Odontology'. The main header includes 'Dentistry Home > Medicine > Dentistry' and navigation links for 'SUBDISCIPLINES', 'JOURNALS', 'BOOKS', 'SERIES', 'TEXTBOOKS', and 'REFERENCE WORKS'. The journal title 'Odontology' is prominently displayed, along with its ISSN numbers and a 'Read Online' button. A 'RECOMMEND TO LIBRARIAN' button and social media sharing options (Like, Tweet, +1) are visible. On the right side, there is a 'FOR AUTHORS AND EDITORS' section with a list of links including '2013 Impact Factor', 'Aims and Scope', 'Submit Online', 'Open Choice - Your Way to Open Access', 'Instructions for Authors', 'Certification Form (pdf, 73 kB)', 'Disclosure of Potential Conflicts of Int...', 'Instructions for Authors (pdf, 253 kB)', 'English Language Editing', 'Submission information', 'Author Academy: Training for Authors', and 'Copyright information'. Below this is a 'SERVICES FOR THE JOURNAL' section with 'Contacts' and 'Download Product Flyer' links. A 'Copyright information' window is open, displaying text for authors regarding manuscript submission and copyright.

“FOR AUTHORS AND EDITORS”の  をクリックすると

“Copyright information”が表示されるので、それをクリック。

Copyright information には、多重投稿などの注意、著作権の譲渡およびその範囲、セルフアーカイブについての説明、プレプリント・博士論文、DOI の扱いについて記載されています。

以下は、SHERPA/RoMEO のデータベースを利用した場合です。

One journal found when searched for: **odontology**

Journal: **Odontology** (ISSN: 1618-1247, ESSN: 1618-1255)

RoMEO: This is a **RoMEO green** journal

Paid OA: A paid open access option is **available** for this journal.

Author's Pre-print: ✓ author **can** archive pre-print (ie pre-refereeing)

Author's Post-print: ✓ author **can** archive post-print (ie final draft post-refereeing)

Publisher's Version/PDF: ✗ author **cannot** archive publisher's version/PDF

General Conditions:

- Author's pre-print on pre-print servers such as arXiv.org
- Author's post-print on author's personal website immediately
- Author's post-print on any open access repository after 12 months after publication
- Publisher's version/PDF cannot be used
- Published source must be acknowledged
- Must link to publisher version
- Set phrase to accompany link to published version (see policy)
- Articles in some journals can be made Open Access on payment of additional charge

Mandated OA: (Awaiting information)

Paid Open Access: [Open Choice](#)

Copyright: [Self-archiving policy](#) - [Authors Rights](#) - [Funder Compliance](#)

Updated: 16-May-2014 - [Suggest an update for this record](#)

Link to this page: <http://www.sherpa.ac.uk/romeo/issn/1618-1247/>

Published by: [Springer Verlag \(Germany\)](#) [[Commercial Publisher](#)] - [Green Policies in RoMEO](#)

For: [Society of the Nippon Dental University](#) [[Client Organisation](#)] - [Suggest to RoMEO](#)

Guidance: Please see the list of [Publisher Categories in RoMEO](#) for guidance on interpreting the priority of multiple publishers.

These summaries are for the journal's *default* policies, and changes or exceptions can often be negotiated by authors.
All information is correct to the best of our knowledge but should not be relied upon for legal advice.

上記内容(抜粋)

RoMEO: This is a **ROMEIO green** journal

Author's Pre-print: ✓ author **can** archive pre-print (ie pre-refereeing)

Author's Post-print: ✓ author **can** archive post-print (ie final draft post-refereeing)

Publisher's Version/PDF: ✗ author **cannot** archive publisher's version/PDF

General conditions(公開条件)

- Author's pre-print on pre-print servers such as arXiv.org
- Author's post-print on author's personal website immediately
- Author's post-print on any open access repository after 12 months after publication
- Publisher's version/PDF cannot be used
- Published source must be acknowledged
- Must link to publisher version
- Set phrase to accompany link to published version (see policy)
- Articles in some journals can be made Open Access on payment of additional charge

Copyright: [Self-archiving policy](#) - [Authors Rights](#) - [Funder Compliance](#)

出版社の著作権に関するホームページとリンクされているので**必ず読む必要があります**。

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

2. 日本歯科理工学会誌

日本歯科理工学会誌のホームページには、「リポジトリ収載許可書」が掲載されています。<http://www.jsdmd.jp/publication/ja.html>

また、学協会著作権ポリシーデータベースからもアクセスが可能です。

学協会著作権ポリシーデータベースの検索結果

ポリシーの検索結果	
雑誌詳細情報	日本歯科理工学会誌
名称	日本歯科理工学会誌 (旧)歯科材料・器械
ISSN	18844421
NCID	AA12452694
言語	日本語
発行元学協会	一般社団法人日本歯科理工学会 ※この雑誌は、学協会ポリシーと同一のポリシーが適用されています
ポリシー	■ Blue (査読後論文のみ認める)
出版社版の利用	出版社版を利用可能です
公開場所	著作者個人のWebサイト 機関リポジトリ 研究資金助成機関のWebサイト 非営利電子論文アーカイブ
公開条件	権利表示を行うこと 出典表示を行うこと 事前に照会を行うこと
データ確認日	2013/09/03

- ・ Blue journal(査読後論文のみ認める)
- ・ 公開条件に、「権利表示」、「出典表示」、「事前照会が必要」

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

4) 許諾願いの書式

1. 論文投稿するにあたっての許諾 (セント・アンドリュース大学のEprintsリポジトリの著作権に関するページ)

=====

I hereby transfer to [publisher or journal] all rights to sell or lease the text (on paper and online) of my paper [paper title]. I retain only the right to distribute it free for scholarly/scientific purposes, in particular the right to self-archive it publicly online on the Web.

(「わたしは、自著論文(〇〇〇〇)」のテキストを冊子版及び電子版で販売・リースするための全ての権利を[〇〇〇〇社(または〇〇〇〇誌)]に譲渡いたします。しかし、学術研究目的のために当論文を無料で配布するための権利、とりわけ当論文をウェブ上で公開するための権利については、これを保持します。)

=====

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

2. 図書館から学会・出版社へ許諾願いを出す場合

《電子メール例》

突然のメールで失礼いたします。日本歯科大学学術機関リポジトリを担当する、日本歯科大学生命歯学部図書館の〇〇と申します。

本学では、本学所属研究者の研究成果（研究論文、学会発表資料等）を「日本歯科大学学術機関リポジトリ(<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp>)」にアーカイブのうえ、公開する事業を行っております。

このたび、学位規則の改正(平成 25 年文部科学省令第 5 号)により学位論文のインターネット利用による公表が定められました。本学〇〇研究科の〇×△□先生ご自身が執筆された下記記事は、学位論文として授与されているため、日本歯科大学学術機関リポジトリへ登録する必要があります。

つきましては、下記記事のインターネット上での電子的公開の許諾をいただきたく、また、必要な手続きについてもご教示をお願いいたしたく存じます。

不明な点がありましたら、当方までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします（連絡は、電話・FAX・メールのいずれでも差し支えありません）。

ご多忙中のところ、恐れ入りますが何卒よろしくお願い申し上げます。

【電子化公開希望記事】

掲載誌：

巻号ページ：

論題：

著者：

出版年：XXXX年

*他出版社の許諾例も添付いたします。

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

《手紙例》

=====

平成〇〇年〇〇月〇〇日()

〇〇〇〇〇 担当者様

日本歯科大学生命歯学部図書館
館長 〇〇〇〇〇

学術機関リポジトリ登録許諾お願い

拝啓

時下ますます御清栄の事とお喜び申し上げます。

さて、本学では、本学所属研究者の研究成果（研究論文、学会発表資料等）を「日本歯科大学学術機関リポジトリ(<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp>)」にアーカイブのうえ、公開する事業を行っております。

このたび、学位規則の改正(平成 25 年文部科学省令第 5 号)により学位論文のインターネット利用による公表が定められました。本学〇〇研究科の〇×△□先生ご自身が執筆された下記記事は、学位論文として授与されているため、日本歯科大学学術機関リポジトリへ登録する必要があります。

つきましては、下記記事のインターネット上での電子的公開の許諾をいただきたく、また、必要な手続きについてもご教示をお願いいたしたく存じます。

不明な点がありましたら、当方までご連絡いただきますようよろしくお願いいたします(連絡は、下記電話・FAX・メールのいずれで差し支えありません)。

ご多忙中のところ、恐れ入りますが何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

【電子化公開希望記事】

掲載誌：

巻号ページ：

論題：

著者：

出版年：X X X X 年

*他出版社の許諾例も同封いたします。

連絡先：〒102-8159 東京都千代田区富士見 1-9-20

TEL: 03-3261-8931 FAX: 03-3238-1289 MAIL: library@tky.ndu.ac.jp

日本歯科大学生命歯学部図書館 担当〇〇

=====

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1
2019.2.13修正

《英文メール例①》

Dear Publisher,

Thank you for publishing our article. We hope to use our article as a thesis of ○○○. Our government requests us to make a thesis available online to the public, if permission is obtained by the publisher. If this is against your policy, please let us know. We need a proof that the publisher declined the online release of our article. If you set up an embargo for the online release by your journal, please let us know the term of embargo. Thank you.

Sincerely,

《英文手紙例②SHERPA 未掲載のため出版者に照会する場合の電子メール例》

Dear Sir/Madam,

One of our professors wants to register his article for our institutional repository, the Nippon Dental University Repository (<https://ndu-rep.repo.nii.ac.jp/>). He submitted us the author's (MS Word) version, peer-reviewed but not post-printed. We searched <http://www.sherpa.ac.uk/> for information, but can't find conditions or restrictions to archive his/her work. Please let me know how we can get permission.

<List of publications>

(書誌事項 掲載誌 : / 巻号ページ : / 論題 : / 著者 : / 出版年 : X X X X 年)

(結句 Sincerely yours, / Yours sincerely /

Very truly yours,

差出人等)

3. 学協会・出版社の利用許諾

2016.9.1

5) 参考文献

大阪大学/筑波大学附属図書館

- ・機関リポジトリと著作権概論：平成24年度SCPJワークショップ

http://www.tulips.tsukuba.ac.jp/pub/SCPJ_WS/H24SCPJ_Copyright_introduction.pdf

千葉大学

- ・《論文投稿するにあたっての許諾》

http://mitizane.ll.chiba-u.jp/metadb/up/C0000051586/NII_IRP_Slides.pdf

24 ページに記載

名古屋大学附属図書館ホームページ

- ・《電子メール例》・《手紙例》・《SHERPA 未掲載のため出版者に照会する場合の電子メール例》

<http://info.nul.nagoya-u.ac.jp/info/index.php/許諾関係文書>

- ・《英文メール例》

<http://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical/1854/1877/kateihakushi.html>

論文インターネット公開について(別紙6)(PDF)

4. 書類ほか

三歳児乳歯齲蝕と歯科保健要因
との関連性について

千代田次郎

Relationship between Caries Prevalence and
Factors Influencing Dental Health Care
in 3-year-old Children

Jirou CHIYODA

日本歯科大学大学院生命歯学研究科歯科基礎系専攻
(指導：九段太郎教授)

The Nippon Dental University, Graduate School of Life
Dentistry at Tokyo
(Director: Prof. Tarou KUDAN)
(2011年1月)

和文表題 [三歳児乳歯齲蝕と歯科保健要因との関連性について]

和文著者氏名 [千代田次郎]

英文表題 [Relationship between Caries Prevalence and Factors
Influencing Dental Health Carein 3-year-old Children]

英文著者氏名 [Jirou CHIYODA]

本文

XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX
XX

参考文献

参考文献

- 1) XXX
- 2) XXX

図と説明文



図 1. 説明文

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書

年 月 日

日本歯科大学生命歯学部図書館長 殿

私が執筆した学位論文の全文もしくはアブストラクトを「日本歯科大学学術機関リポジトリ」を通してインターネット上に公開するため申請します。

報告番号	甲	学位の種類	博士(歯学)
学位授与日	平成 年 月 日		
研究科(専攻)名		科目	
氏名		氏名ヨミ	
論文題名			
学位取得後の 連絡先	住所: 〒 Tel: E-mail:		

確認事項(全文公表かアブストラクト公表かを判断するためのものです。)

* 該当するものにチェックを入れてください。

1. 投稿先の学協会・出版社のリポジトリ登録許諾について次のいずれかにチェックを入れてください。
- a. 学協会・出版社の許諾を得ましたので全文公表ができます。
(学協会・出版社の許諾に公開条件がありましたら下記に記載してください。
例: リポジトリ公開は雑誌発表1年後なら許可する など)
 - b. 学協会・出版社の許諾を得ることができませんでしたので全文公表ができません。
 - c. 論文投稿中のため全文公表はできません。投稿先の許諾可否がわかりましたら変更届と書き直した申請書を提出します。
 - d. 学協会・出版社の許諾確認ができませんので全文公表ができません。

掲載先をご記入ください。(書ききれない場合は、コピー添付でもかまいません。)

雑誌名: (巻号: 頁: 出版年月: 年 月)
論題:
学協会名もしくは出版社名:
公開の条件(可能な公開日時、出版社名の明記が必要など):

2. 特許・実用新案がありますか？

はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 特許・実用新案は公開済みなので全文公表ができます。[年 月]
- b. 特許出願予定または審査中です。全文公表はできません。
(出願公開前) [出願(予定): 年 月]
- c. 実用新案出願予定または審査中です。全文公表はできません。
[出願(予定): 年 月]

3. 共同研究者・共著者がいますか？

はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 共同研究者、共著者全員の許諾を得ていますので全文公表はできます。
許諾者全員の印を下記にお願いします。
- b. 共同研究者、共著者全員の許諾願い中のため全文公表はできません。
- c. 共同研究者、共著者全員の許諾を得ていないため全文公表はできません。
全員の許諾を得ていないと登録できません。

*許諾者印のコピー添付でも構いませんので、必ず全員をお願いします。

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

4. 引用など論文中に他者の著作物が含まれていますか？

はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. その著作権処理を終えていますので全文公表はできます。
- b. その著作権処理を終えていませんので全文公表はできません。

5. 患者の写真など個人情報に係わる情報が含まれていますか？

はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 個人情報掲載の許諾を得ていますので全文公表はできます。
- b. 個人情報掲載の許諾を得ていませんので全文公表はできません。

6. インターネットでは公表できないような立体形状による表現等を学位論文に含みますか？

はい いいえ

7. 学位論文全文もしくはアブストラクトは PDF 形式での提出です。

以下のことを必ずご確認の上、チェックを入れてください。

- 機種あるいはベンダー依存の形式ではありません。
- 外部情報源(外部フォント等)を参照していません。
- 暗号化・パスワードの設定・印刷制限等を行っていません。

8. その他

以上の確認事項から、以下の該当する□にチェックを入れてください。

- 1.全文公表に関する権利関係に問題がありません。リポジトリ登録をお願いします。
- 2.全文公表を1年以内に公表ができません。アブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。
上記確認事項の事由消滅後に全文公表をお願いします。
- 3.全文公表は上記確認事項の事由によりできません。アブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。

指導教員承認印

指導教員名: _____ 印

研究科長承認印

研究科長名: _____ 印

- * 申請書提出するにあたり必ず学協会・出版社の許諾書の写しも添付してください。
- * 事由の消滅により全文公表ができるなど申請書に変更がある場合は、変更届と書き直した申請書の提出をお願いします。

登録申請書受理後、受領書・掲載通知を E-mail で送付します。

*この申請書に対してご不明な点がございましたら、図書館までご連絡ください。

連絡先: 内線 2393 E-mail : library@tky.ndu.ac.jp

2016.3.2

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書

平成 26 年 3 月 31 日

日本歯科大学生命歯学部図書館長 殿

私が執筆した学位論文の全文もしくはアブストラクトを「日本歯科大学学術機関リポジトリ」を通してインターネット上に公開するため申請します。

報告番号	甲 1234	学位の種類	博士(歯学)
学位授与日	平成 26 年 2 月 3 日		
研究科(専攻)名	新潟生命歯学研究科	科目	硬組織機能治療学
氏名	歯科 太郎	氏名ヨミ	シカ タロウ
論文題名	Occurrence of gustducin-immunoreactive cells in von Ebner's glands of guinea pigs		
学位取得後の連絡先	住所: 〒951-8580 新潟市○○○区○○町○丁目○番地○○ Tel: 025-267-1500 E-mail: ○○○○@gmail.com		

コメント [1]: リポジトリ登録を終えたなどの連絡を致します。必ずご記入ください。

確認事項(全文公表かアブストラクト公表かを判断するためのものです。)

* 該当するものにチェックを入れてください。

1. 投稿先の学協会・出版社のリポジトリ登録許諾について次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 学協会・出版社の許諾を得ましたので全文公表ができます。
(学協会・出版社の許諾に公開条件がありましたら下記に記載してください。
例: リポジトリ公開は雑誌発表 1 年後なら許可する など)
- b. 学協会・出版社の許諾を得ることができませんでしたので全文公表ができません。
- c. 論文投稿中のため全文公表はできません。投稿先の許諾可否がわかりましたら変更届と書き直した申請書を提出します。
- d. 学協会・出版社の許諾確認ができませんので全文公表ができません。

コメント [2]: 雑誌掲載後の論文における学位審査時の内容訂正があるため、全文公表ができない場合は、こちらにチェックして、確認事項 8. その他で事情をご記入ください。

掲載先をご記入ください。(書ききれない場合は、コピー添付でもかまいません。)

雑誌名: Histochemistry and cell biology (巻号: 40(5) 頁: 567-574 出版年月: 2013(H.25)年 11 月)
論題: 学位論文と同一タイトル
学協会名もしくは出版社名: Springer
公開の条件(可能な公開日時、出版社名の明記が必要など): 雑誌公表 12 ヶ月後に著者最終原稿(査読後)ならリポジトリ登録可能。ただし、出版情報、DOI も記載し掲載論文へのリンクをすること(許諾書参照)

2. 特許・実用新案がありますか？

- はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 特許・実用新案は公開済みなので全文公表ができます。[年 月]
 b. 特許出願予定または審査中です。全文公表はできません。
(出願公開前) [出願(予定): 年 月]
 c. 実用新案出願予定または審査中です。全文公表はできません。
[出願(予定): 年 月]

3. 共同研究者・共著者がいますか？

- はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 共同研究者、共著者全員の許諾を得ていますので全文公表はできます。
許諾者全員の印を下記にお願いします。
 b. 共同研究者、共著者全員の許諾願い中のため全文公表はできません。
 c. 共同研究者、共著者全員の許諾を得ていないため全文公表はできません。
全員の許諾を得ないと登録できません。

*許諾者印のコピー添付でも構いませんので、必ず全員をお願いします。

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

許諾者氏名 _____ 印

コメント [3]: 必ず全員をご記入ください。

4. 引用など論文中に他者の著作物が含まれていますか？

- はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. その著作権処理を終えていますので全文公表はできます。
 b. その著作権処理を終えていませんので全文公表はできません。

5. 患者の写真など個人情報に係わる情報が含まれていますか？

- はい いいえ

「はい」の方は、次のいずれかにチェックを入れてください。

- a. 個人情報掲載の許諾を得ていますので全文公表はできます。
 b. 個人情報掲載の許諾を得ていませんので全文公表はできません。

6. インターネットでは公表できないような立体形状による表現等を学位論文に含みますか？
 はい いいえ

7. 学位論文全文もしくはアブストラクトはPDF形式での提出です。

以下のことを必ずご確認の上、チェックを入れてください。

- 機種あるいはバンダー依存の形式ではありません。
- 外部情報源(外部フォント等)を参照していません。
- 暗号化・パスワードの設定・印刷制限等を行っていません。

8. その他

コメント [4]: 雑誌掲載論文と学位審査論文とで内容が異なるなど

以上の確認事項から、以下の該当する口にチェックを入れてください。

1. 全文公表に関する権利関係に問題がありません。リポジトリ登録をお願いします。

コメント [5]: 出版社ポリシーなどの公開条件を確認して学位取得後1年以内に全文公表が可能でしたらここにチェックを。アブストラクトは必要ありません。

2. 全文公表を1年以内に公表ができません。アブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。
上記確認事項の事由消滅後に全文公表をお願いします。

3. 全文公表は上記確認事項の事由によりできません。アブストラクトのリポジトリ登録をお願いします。

コメント [6]: 学位取得後、権利関係などの理由で全文公開に1年以上かかるのでしたらここにチェック。アブストラクトと全文両方の提出をお願いします。アブストラクトで公表し事由書滅後に全文公開に切り替えます。

指導教員承認印

指導教員名: _____ 印

コメント [7]: 権利関係などのために公開できない場合。

研究科長承認印

研究科長名: _____ 印

- * 申請書提出するにあたり必ず学協会・出版社の許諾書の写しも添付してください。
- * 事由の消滅により全文公表ができるなど申請書に変更がある場合は、変更届と書き直した申請書の提出をお願いします。

登録申請書受理後、受領書・掲載通知をE-mailで送付します。

* この申請書に対してご不明な点がございましたら、図書館までご連絡ください。

連絡先: 内線 2393 E-mail: library@tky.ndu.ac.jp

2019.2.13

年 月 日

学位報告番号：_____ 授与者名：_____

メタデータ

和文論題		
別言語の論題		
キーワード		
キーワード(英)		
学位名	博士（歯学）（記載不要）	
学位授与機関	日本歯科大学（記載不要）	
学位授与年度 [授与年月日]	年度 [年 月 日]	
学位授与番号	(記載不要)	
授与者名(著者)	姓：	名：
授与者名ヨミ	セイ：	メイ：
著者 ID(科研費などの研究者番号)(任意)		
掲載雑誌 [論題・年・巻・号・頁]	論題: 年: 巻: 号: 頁:	
URL(論文の掲載先)	* 出版社ポリシーで必要なことが多いため	
DOI	* メタデータ記入では、推奨とされているため	
備考		

*このメタデータ記入用紙に対してご不明な点がございましたら、図書館までご連絡ください。

連絡先: 内線 2393 E-mail : library@tky.ndu.ac.jp 2015.5.13

年 月 日

学位報告番号： 甲XXXX 授与者名： ○○ ×××

メタデータ

和文論題	口臭物質による骨芽細胞内でのカスパーゼ-8, -9 の発現とアポトーシス誘導	
別言語の論題	Oral malodorous compound causes caspase-8 and -9 mediated programmed cell death in osteoblasts.	
キーワード	口臭物質 骨芽細胞 カスパーゼ-8 カスパーゼ-9 アポトーシス	
キーワード(英)	Halitosis, Osteoblasts, Caspase-8, Caspase-9, Apoptosis	
学位名	博士（歯学）（記載不要）	
学位授与機関	日本歯科大学（記載不要）	
学位授与年度 [授与年月日]	2011 年度 [2012 年 2 月 7 日]	
学位授与番号	(記載不要)	
授与者名(著者)	姓： ○○	名： ×××
授与者名ヨミ	セイ：	メイ：
著者 ID(科研費などの研究者番号)(任意)		
掲載雑誌 [論題・年・巻・号・頁]	Journal of periodontal research 論題: Oral malodorous compound causes caspase-8 and -9 mediated programmed cell death in osteoblasts. 年: 2011 巻: 47 号: 3 頁: 365-73	
URL(論文の掲載先)	* 出版社ポリシーで必要なことが多いため http://onlinelibrary.wiley.com/doi/10.1111/j.1600-0765.2011.01442.x/abstract;jsessionid=0057087FE564097A2B7420525C81F807.f01t02	
DOI	* メタデータ記入では、推奨とされているため doi: 10.1111/j.1600-0765.2011.01442.x	
備考		

*このメタデータ記入用紙に対してご不明な点がございましたら、図書館までご連絡ください。

連絡先: 内線 2393 E-mail : library@tky.ndu.ac.jp 2015.5.13

年 月 日

日本歯科大学学術機関リポジトリ登録申請書変更届

日本歯科大学
新潟生命歯学部研究科長 殿

研究科(専攻)名 _____
学位授与番号 _____
学位授与者名 _____

下記の通り変更があるため、リポジトリ登録申請書を書き直して再提出いたします。

変更内容：(例：リポジトリ登録を全文から抄録に変更します。)

変更理由：(例：変更した投稿先出版社の許諾を得られなかったため。投稿先出版社の許諾書のコピーも併せて提出します。)

学位論文リポジトリ登録マニュアル 発行日

平成 26 年 2 月 28 日 第 1 回発行

平成 27 年 5 月 11 日 第 2 回発行

平成 27 年 5 月 13 日 第 3 回発行

平成 28 年 9 月 1 日 第 4 回発行

平成 31 年 2 月 13 日 第 5 回発行

令和元年 10 月 1 日 第 6 回発行

第 4 回より 5 種作成

生命歯学研究科委員用

生命歯学研究科学位取得者用

新潟生命歯学研究科委員用

新潟生命歯学研究科学位取得者用

図書館員用